

平成24年度国際消防救助隊の連携訓練

参事官

国際消防救助隊は、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」に基づき、海外における大規模災害時に被災国政府等からの要請に応じて派遣される国際緊急援助隊の中核として救助活動を実施します。これまで18回の派遣実績があり、直近は平成23年2月のニュージーランド南島地震災害に派遣されています。

国際消防救助隊が海外の被災地で円滑に活動するためには、国連を中心として発展している国際的な連携・調整手法や、国内とは異なる活動環境下で適切かつ安全に活動するための知識・技術を習得しておく必要があります。

このため、消防庁では、従来より国際消防救助隊の連携訓練を推進してきたところであり、今年度は、広島市、京都市及び東京都の連携訓練実施消防本部が参加消防本部と協力し、連携訓練を以下のとおり実施しました。

連携訓練は、基本訓練（鉄筋コンクリート等の破壊技術等）と応用訓練（想定を与えた実戦的な訓練）から成ります。このうち応用訓練の一例として、座屈した建物の中にクラッシュ症候群など瓦礫下特有の病態に陥った要救助者がいることを想定して進入・退出路の確保（コンクリートの破壊や排除）、その後、人ひとりがやっと通れる暗く狭い空間において医師と連携して要救助者の病態に応じた処置を行いながら屋外まで救出する一連の訓練が行われました。

今年度、消防庁では引き続き2月27日から3月1日にかけて全国市町村国際文化研修所において国際消防救助隊セミナーを開催し、国際緊急援助活動で必要とされる知識等の習得を図ってまいります。

1. 実施消防本部

(1) 広島市消防局

【参加者：国際消防救助隊員44名（10消防本部）】

日 時：平成24年10月17日（水）、18日（木）

場 所：福田消防訓練場

(2) 京都市消防局

【参加者：国際消防救助隊員32名（23消防本部）】

日 時：平成24年11月1日（木）、2日（金）

場 所：京都市消防活動総合センター

(3) 東京消防庁

【参加者：国際消防救助隊員32名（4消防本部）】

日 時：平成25年1月25日（金）、26日（土）

場 所：(株)昭和石材入川工場（東京都西多摩郡奥多摩町）

2. 内容

(1) 基本訓練

ブリーチング（鉄筋コンクリート等の破壊技術）

ショアリング（倒壊建物等における木材を活用した安定化技術）

クリビング（木材を活用した重量物安定化技術）

CSR（閉鎖空間からの救助）等

(2) 応用訓練

座屈倒壊を想定した施設での部隊活動訓練 等

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 藤江
TEL: 03-5253-7507



開会のあいさつ（消防庁永作卓士国際協力官）
【京都市消防局】



基本訓練（クリッピング）の様子
【京都市消防局】



基本訓練（ショアリング）の様子
【広島市消防局】



応用訓練の様子
【京都市消防局】



基本訓練（ブリーチング）の様子
【広島市消防局】



応用訓練の様子
【東京消防庁】



応用訓練の様子
【広島市消防局】



野営訓練の様子
【東京消防庁】